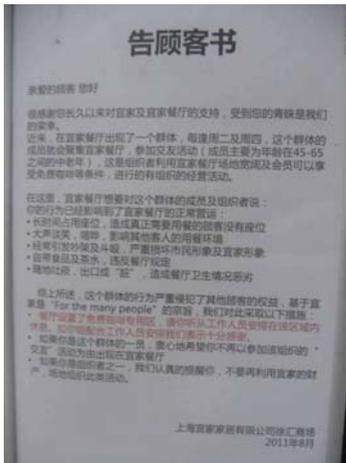


1. イケアで、中高年の身勝手な婚活イベント

徐匯区にあるスウェーデンの家具小売: イケア (IKEA) の店内にあるカフェテリアに、近所の中高年が大勢集まり、そこを婚活の場所として利用するようになったため、イケア側は大変困惑しているという。

イケアは、世界41か国に店舗を持ち、独特の回遊方式の展示陳列やイスやベッドなどを顧客に自由に使わせるというコンセプトで、大きく業績を伸ばしている。また会員になれば平日は、無量でコーヒーなどの飲料のサービスが受けられ、カフェテリアでゆっくり休めるようになっている。これまでイケアは、世界各国でこの方式を取り入れており、まったく問題がなかった。ところが今回、上海の徐匯店では、想定外の事態に直面してしまったのである。



イケアのこの特典を利用し、上海市徐匯区の近所の中高年男女がカフェテリアに、毎週火曜日に木曜日に定期的に集まり、そこを出会いの場所として利用するようになったのである。多いときは700人ほどが集合し、カフェテリアが占領され、イケアに買い物に来たお客さんがまったく利用できなくなってしまったという。この中高年男女は、おやつなどを持参し、無料の飲料を飲み、長時間、居座っておしゃべりを続ける。彼らが参集する日は、無料の飲料の紙コップが通常日の3倍にふくれあがり、ゴミも倍になるといふ。中にはおしゃべりに疲れると、店の販売用のベッドで高いびきをかいて寝込む中高年が出てきて、営業妨害の状況に近くなってきたので、さすがにイケア側も、個別に注意したり、組織的な集会は止めて欲しいとの貼り紙をしたり、懸命の努力をソフトに続けた。その結果、集合する中高年は、40~50人に減ったという。

私がイケア徐匯店を訪ねたときは、金曜日だったので、この集団を目にすることはできなかった。清掃係やガードマンに状況を尋ねると、やはりまだ毎週火・木には、50人ほどが集まり、婚活を続けていると話してくれ、わざわざ彼らの指定席?まで案内してくれた。たしかにイケアに限らず、中国の地方都市ではマクドナルドやケンタッキーの店でも、中高年の男女がその店の食べ物を買わないのに、店の座席を占拠している光景をよく目にする。ことに夏場の暑いときには、近所の中高年が涼さを求めて集まって来ることが多い。店の側でも、それを追い払う様子も見かけない。したがって一般客は、昼食時などの混雑時には、座席を確保するのにたいへん苦勞する。しかし今回のイケアの事態は、地方都市ではなく、中国の顔である上海で起こったのである。まさにこれは世界の常識やモラルが、中国では通用しない代表例であるといえよう。ちなみに当日のイケア徐匯店は、一般顧客が多く、盛況だった。

2. 地下鉄駅構内にバーチャルスーパー登場

上海の地下鉄駅構内にバーチャルスーパーが登場し、話題を集めている。地下鉄駅の構内の壁や柱に、商品広告が値段入りで貼り出されており、利用者はその商品の写真の下に2次元バーコードをスマートフォンで撮影し、簡単な操作をするだけで商品を購入できる仕組みになっている。この中国初のバーチャルスーパーは、「無限1号店」という名称で、中国のEC企業「1号店」が今年の7月から始めた。この反響を見て、北京などにも同様の方法で進出する予定。



私はこの現場を見に行ったが、壁に貼ってある広告については、見つけ出すことができなかった。駅員さんに聞いても、撤去されたという答えが返ってくるだけだった。一生懸命、構内を探していたら、ホームの柱にその広告が貼り出されていた。しかし品数は20点ほどしかなく、それを立ち止まって見ている人もほとんどいなかった。私もこのバーチャルスーパーでなにか購入しようと思ったが、まず購入用専用ソフトをインストールしなければならず、それは柱の側面に表示してあったが面倒そうだったので止めた。そこで30分間ほど、近くのイスに座って様子を見続けていたが、だれ一人、商品購入行動を起こさなかった。私はそれを見ていて、どうもこのバーチャルスーパーはアイデア倒れに終わりそうだと思った。

### 3. 田子坊エリアに全国商工会がアンテナショップ開設

上海市の泰康路の田子坊エリアに、全国商工会連合会が日本の中小企業が製造した商品を販売するアンテナショップ「JAPAN MADE SHOP +8」を開設した。この店は、日本政府の中小企業支援策の一環として、中小企業基盤整備機構の協力を得て、商工会連合会が運営し、当面は、化粧筆、加賀漆器、南部鉄器、沖縄のガラス工芸品などを展示即売する。出展企業には現地での売り上げ動向をフィードバックし、上海でのテストマーケティングの場として利用してもらう予定。なお豊富な商品知識を持ったスタッフによる日本流の接客や贈答品のラッピングなどにより、本格的な日本式サービスを提供するという。

田子坊エリアは、上海の古い街並みが残り、商店やレストランが立ち並んでいる有名な観光地の一つである。日本では、高樹のぶ子氏の日経新聞の連載小説「甘苦上海」の舞台ともなり、最近、一躍脚光を浴びている場所である。また中国人の観光客も団体で訪れるほどの場所でもある。

私が田子坊エリアを訪れたときも、そこは多くの中国人や外国人の観光客で混み合っていた。せまい路地に商店が軒を連ねており、その光景を観光客がカメラに納めようとして道を塞いでしまうので、通りは余計に混雑していた。私はてっきり全国商工会のアンテナショップもそのエリアの中にあると思い、案内所でその場所を聞いたが、案内係の女性はわかりませんと答え、代わりに日本製品を売っているという店の場所を教えてくれた。そこで狭い路地を通って、その店に行ってみたところ、狭い店内にはたしかに日本製品らしきものがたくさん並んでいたが、やはり全国商工会とは関係がなさそうだった。仕方がないので、その店の主人に全国商工会のアンテナショップのことを聞いてみたところ、それは田子坊エリアからは少し離れた場所にあると教えてくれた。

教えてもらったように、田子坊エリアを出て50mほど歩いて行くと、たしかにそこに全国商工会のアンテナショップがあった。しかしその周辺には観光客も地元の人も、まったくいなかった。そこは田子坊エリアの賑わいがまったくない、落ち着いた静かな場所であった。店内に入ってみたところ、商品は奇麗に陳列してあったが、先刻の店の商品とは値段が2桁も3桁も違っていた。それらは私でも買うのをためらうほどの値段だった。店員の接客態度もそれほどのものではなかった。表に出て、20分間ほど様子を見ていたが、その間でこのショップを訪れたお客さんはゼロだった。私はこの店をアンテナショップと位置づけたら、すべての出展企業は中国進出を断念せざるを得ないという結論に至ると思った。とにかくこのショップにはお客さんが入らず、アンテナにもならない店だと判断できるからである。日本政府はこんなところでも、税金の無駄使いをしているのである。アンテナショップ構想などは、中国がWTOに加盟したときに試行するもので、10年遅い。



### 4. ミスタードーナツ店、破壊

上海市の繁華街、静安寺にあるミスタードーナツの店が、貸し主のビル管理会社から、突然退去を求められ、話し合いがつかないのに、破壊されてしまった。ミスタードーナツ店は9月末から営業停止状態に陥った。

そのミスタードーナツ店は、地下鉄2号線静安寺駅の近くの虹環世界大廈の1Fにあり、メインストリートに面しているのに、貸し主はそこに「避難用通路を作る」という理由で7月に退去を求めた。ミスタードーナツ側は、貸し主と2016年4月までの契約を交わしており、それを拒み交渉中であったが、9月27日、突然、電気が切られ、1時間後にビル管理会社の職員らが来て裏側から店舗を破壊しはじめ、29日には表通りにビル入口の看板を取り付けてしまった。ちなみにこのミスタードーナツ店は、日本と台湾企業が折半出資して運営しており、上海市内には16店舗を有している。



私は10月中旬に、この場所に行ってみた。ミスタードーナツの看板は取り外されてしまっていたが、さりとて避難用通路として使用されている形跡はなかった。表のガラス戸には大きなカギがかけられており、中にはガードマンが一人、座っているだけだった。

### 5. 新世界百貨、上海調頻壹広場を18億 HK \$ で買収

香港の新世界百貨中国は、上海市長寿路にある百貨店「上海調頻壹広場(チャンネル1)」を、18億 HK \$ (約174億円)で、米国の投資ファンド運用会社:ブラックストーンから買収すると発表。「上海調頻壹広場」の店舗面積は約4万2千㎡。もともと香港の金融会社が所有していたが経営不振のため、2009年、米国ブラックストーンの傘下会社の資産管理会社に売却したものの、経営不振状態は挽回できず、



再売却となった模様。ブラックストーン側は、「上海調頻壹広場」はこの3年間、同物件の使用率は90%を上回っており、経営は順調だったと言っているが、売却理由は明らかにしていない。

一部の専門家はこの決断について、ブラックストーンが中国の景気後退および商業用不動産市場の急落との悲観的な観測から撤退したと推測している。また同社の撤退についてネットでは、近い将来の中国不動産市場、特に商業用不動産市場の暴落の兆しだとの意見や、この中国の現況は1990年初期に、多くの外国資本が日本から撤退した日本の不動産バブル崩壊直前と似ているという指摘が見られる。たしかに上海地区ではここ数年、百貨店の買収、再編が相次いでいる。

「上海調頻壹広場」は地下鉄長寿路駅から歩いて10分ほどの位置にあるが、人通りはあまり多くなかった。百貨店内にもほとんど人影はなく、経営不振も頷ける状態であった。また2階には、ユニクロ、H&M、ザラなどの店舗が並んでいたが、ここにもほとんどお客さんは入っていなかった。



以上